

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力 育てたい との関わり	基本施策 との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
重点・挑戦し続けるたくましさの育成 方針・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学び ②「なりたい自分」への向き合い ③地域との協働 ④生き生きと働ける学校づくり	◆キーワード「つたえる」「スマイル」「自分から」 心ゆたかに たくましく 生きる子	自立力 自ら考え、判断し、行動する力・自分から笑顔で思いを伝える力	学習の確立 生活の確立 思春期の確立 土台	① 「学ぶ心構えや姿勢づくり」	1) 学習に臨む姿勢づくり(授業準備等)の徹底 2) 個の学習状況の見届けと個に応じた継続的な指導	A B	・個に合わせた指導内容を考え、研究と関わらせて表現する必然性のある場を設定し、対話的な学びの実践を進めた。 ・教科の言葉や数、式、表などを使ってわけや求め方を説明できると答えた児童は77%であるが、まだ個人差がある。ICTをさらに効果的に活用するなどして取組を進めていく。 ・仲間の考えを聞いて反応したり、自分の考えを伝えたりすることで、考えを深めたり、広めたりしていると答えた児童が85%だった。主体的な学びのための課題設定と出口の姿を明確に示し、終末に達成度を確認することで達成感をもつことができ、学習内容の定着に繋がったと考える。 ・84%の児童が家庭学習の内容を考えたり工夫できたりして取り組んでいると答えている。よりよい宿題のあり方について職員でさらに検討していく。
					① 「豊かな表現力づくり」	1) 表現する必然性のある場の設定(導入・仲間学び・終末) 2) ICTの効果的な活用(発表・伝達・交流・表現等)	A B	
					① 「自分で学ぶ力づくり」	1) 児童が自分から「知りたい」「やってみたい」と感じる課題設定と解決に向かう手立ての工夫 2) 必然性のある家庭学習の実施とやりとげさせる指導	A B	
					② 「よりよい生活習慣づくり」	1) 家庭と連携した基本的な生活習慣の確立のための指導 2) 児童会活動を中心としたあいさつの向上と活動・自治活動の推進	A A	
						1) 多様な考え方を認める心の教育の実践(道徳等) 2) 自分で考え、判断し、自己決定させる場の設定と指導	A B	
					② 「思いやりの心づくり」	1) 安心して語り合える人間関係を築く仲間づくり(笑顔で思いを伝え合う等) 2) 全職員による組織的な教育相談(いじめへの迅速な対応、まがたまサポーター制度の充実等)の実践	A A	
						1) なりたい自分を具体的にイメージして取り組む係活動や異学年交流活動等の推進 2) 家族や地域の方から生き方を学ぶ活動(学習)の推進	B A	
					③ 「地域社会の一員としての自覚づくり」	1) 郷土学習の系統表をもとにした見通しある指導 2) 地域行事への参加促進と地域に貢献する態度の育成	B A	
						④ 「生き生きと働ける学校づくり」	1) 同僚性を大切にして、切磋琢磨し合える関係づくり	

学校運営協議会における主な評価内容
(R57.3, 12.18, R6.2.29の3回実施)

①子どもたちが明るく元気なところがとても良い。先生方が頑張っており、子どもたちが成長している。日頃の学校での指導が効果的に表れており、安心して任せられる。
 ②ICT機器を効果的に活用している。また自分の手で書いたり実物を示したりする学習も大切である。西小学校ではそのどちらもバランスよく指導していることがよく伝わってくる。
 ③地域では挨拶の声が小さかったり、なかなか返ってこなかったりすることがある。地域の大人や家庭でもしっかりと教えていく必要がある。